



～学び 愛し 翔る 西郷小～

西郷富士

最近 50 人
近く見て
いただい
ています！



西郷小学校

令和元年 第36号

令和元年11月26日

文責 校長 田中裕子

漢字先取り指導をやっています！！

本校では、今年度から令和になったことを機に変更したことがたくさんあります。その一つが漢字先取り指導です。2学期までに現学年の漢字を学習してしまいます。3学期は次学年の漢字を教えます。つまり、4月の段階で、習熟まではいきませんが、一応漢字を知っており、12月までに習得、そしてまた新たな学年の漢字を学習するというサイクルをとっています。

このようなことから、12月に漢字50問テストを全校で取り組み、同じ問題を3学期にも行い変容をみます。みながんばっています！



<問題に一気に食いつく子どもたち>

☆・・・表彰おめでとう・・・☆

★クミアイプロパンコンクール

県一席 3年 菱岡 功一

★佐野常民博愛作文

佳作 6年 平河 歩希

★読書感想文コンクール県審査

優良 2年 福嶋 華菜

佳作 3年 菱岡 功一

5年 大坪 暖瑠

★学童美術展

県特選 1年 陣内 翔太

県準特選 1年 實松 胡桃

馬場 心

2年 古川 凱也

5年 末次 早紀

★吉田絃二郎絵画の部

最優秀 5年 三好幸太

☆3年1組の皆さん

吉田絃二郎顕彰会より感謝状贈呈

2年生研究授業がんばりました！

22日は、今年度最後の授業研究会が行われました。本校は、全学級で行い、指導法改善を常に行っています。今回もたくさんの良さがありました。

1 九九の性質をよく理解し使えている

来年から始まる新学習指導要領では、何ができるか、習ったことをいかに使えるかを問われます。子ども達が九九の性質を理解し、問題を解くことを全員ができていたことに驚きました。

2 答えを自ら解いていこうとする意欲が高い

先生が問いを出された途端、「わかった」「ああすればいいよ」などのささやきが聞こえました。積極的な子ども達の姿勢は、最後まで続きました。教室全体がやるぞという気合いに満ちたのを感じました。

3 皆で学び合っている

自分の考えを発表したら、次は子ども達がつないで発言していきます。「助けます」「つなぎます」という挙手が随所に見られました。考えを教室全体に広げていくところがすばしかったです。

最後は時間が足りず、もつともつと発言したかっただろうなどという中で終わりました。その意欲は次時にもつながると確信する子ども達の姿でした。

先日漢字ボランティアの池田さん(卒業生のおばあちゃん)とお話していると、3年緒方聖仁さんの話になりました。近所にお住まいで、時々いただきもののおすそわけをちょっと緒方さんの家に持って行くことがあるそうです。いただいたその時にお礼を言うのは当たり前ですが、聖仁さんは「この前はありがとうございました」と、もう一度会ったときにもお礼を言ってくれるそうです。

その場でお礼を言うことはできますが、次に会った時までお礼を言うことは、大人でもなかなかできません。きっとご家庭で意識されているのでしょう。是非これからも大切にしたい習慣ですよと話したことでした。

余談になりますが、池田家では犬を飼われています。そのワンちゃんがなかなかつかないどころか見知らぬ人には吠えて困っているそうです。ところがそのワンちゃんが聖仁さんを見つけると、しっぽをふって寄っていくそうです。人にも動物にも大人気ですね！！

～吉田絃二郎生誕祭3年生の劇、大成功！！～

毎年生誕祭で西郷小学校3年生が担当している披露。今年は、佐藤先生と3年生が調べたことを元にした発表と劇、そして歌で構成されたものとなりました。きみてんしゃい祭りでは、後方にいらつしゃった保護者の方々は聞こえづらかったかもしれませんが、今回はよく通る大きな声ではきはきと台詞を言う子ども達の声が席まで届いたのではないのでしょうか。歌声もソロ3名が登場しての合唱となり、感動を与えたのではと思っています。

さて、「大成功」と表題に書かせていただきましたが、成功の意味は何か、私は外から見える部分と内面的なもの二つがあると思います。外からの部分は、「大きな声で言えた」「台詞を上手に言えた」「歌を上手に歌えた」など、まず子ども達がゴールとして目指すところです。まずここを目指し、できるようになるよう子ども達と共に練習を重ねます。時には厳しく指導することも当然あります。練習を積み重ねる毎に上手になり、子ども達に自信をもたせることもできます。今回、きてみんしゃい祭りからたった1週間にも関わらず、これらのパフォーマンス力が格段に上がり、最後の田中副市長の「厳かな雰囲気から一変し、ユーモアとほんのりした温かさを披露してくれた」の言葉通り、見事に今回の劇を成功させてくれたと思います。他にも松本市長、永淵公民館長等から、子ども達の発表、そして担任の先生の指導が素晴らしかったと大いに褒めていただきました。

では、内面的な成功とは何か・・・実はこのためにやっていると言っても過言ではないかもしれませんが、子ども達の心の中に、やり遂げた達成感、充実感をもたせることやクラスの結束力を感じ取らせることだと思っています。そして、自分達が周りに感動を与えたのだという喜び、これも感じてほしいと思います。何かを一生懸命にやることは、自分達だけでなく周りの人にも喜びを与えます。こういう気持ちを子ども達に感じさせることができたからこそ、心からやってよかった、大成功だったという気持ちになるのだと思いました。

昨今、個への対応の重視、行事削減の中、このような体験が大変少なくなっています。だからこそ、学校で経験させることで、子ども達の内面をしっかり育てたいという思いがあります。大人以上に子どもは経験させておくことが大切です。今回の劇のためにきつい思いやつらい思いをした子ども達は少なくないでしょう。でも、それを乗り越えていく力は今つけておくべきものだと思います。個では決して経験できないものです。

当日、たくさんの保護者の方々から笑顔で「良かったですね！」「感動しました」「きてみんしゃい祭りからの成長がすごかったですね」などの言葉をいただきました。また、関係者の方々からも指導した担任の佐藤先生はじめ菊田先生、岩永先生へのねぎらいの言葉をいただきました。この場を借りて深くお礼申し上げます。

周りを感動の渦に包んだ3年生、本当に素晴らしかったです！！感動をありがとう！大きな拍手を送ります！！



お詫び：先にお伝えしましたバザー売上金ですが、おつり分も含まれていましたので、下記の通り訂正します。

誤 100,850 円 正 87,850 円